編集者：野尻、藤本、渡邊、松下、林、藤井、江﨑、玉木

岐阜市未来共創WS：Eグループ

2040 JULY 12

GIFUCITY TIMES

2040.7.12(Thu) Gifu Weather
晴れ 時々 曇り
最高30℃ / 最低20℃
長良川：遊泳OK
ドローン配送：飛行良好

私たちが創った未来 全世代で育む緑豊かなまち

15年前、市民ワークショップで描かれた「どんなフェーズでも人と自然がつながる持続可能なまち」という未来像は、今や私たちの日常となった。笑顔があふれる多世代の交流、都市機能と融合した豊かな緑、災害に強く絆の深い地域社会。これらは単なる理想ではなく、市民一人ひとりの行動が結実した成果だ。「つながり」「自然」「防災」「長良川」という4つの柱を軸に進められた変革は、いかにしてこのまちを変えたのか…。その成功の軌跡を追う。

Action01 笑顔と活気が戻った地域社会

かつて希薄化が懸念された地域のつながりは、劇的な回復を遂げた。「つながり再生プロジェクト」では、多世代交流イベントの定期開催により地域夏祭りなどが復活。小学校区単位の「いきいきサロン」は、年代に関係なく高齢者から子どもまでが集う拠点となった。実行委員会方式の導入で、やらされるのではなく「やりたい人が主体」の運営が定着。「小学生と高校生と一緒にイベント企画するの楽しい！」と実行委員の中学2年生佐藤健太さん（14）が話すように、自発的な熱意が地域の質を高めている。

Action02 都市と森が呼吸する空間へ

岐阜市の中心部は、「まちなか自然空間創出プロジェクト」により緑溢れる空間へと変貌し、岐阜駅周辺や柳ケ瀬に若者の居場所が誕生。木質化建築が進み、温かみのある景観が広がっている。大学生の田中由衣さん（21）は、「ここは本当に気持ちがよくて、新しい居場所になった！みんなで集まって、ゆっくりおしゃべりしたりするのが最高！」と笑顔を見せる。
自然体験入口拠点の設置により、都市と自然の融合が実現し市民が日常的に自然と触れ合う機会が定着している。

Action03 絆が守る命と未来

「災害関連死ゼロ」を達成した「地域愛着・防災力向上プロジェクト」。その成功の裏には、「防災の話をしない防災改革」という逆転の発想があった。着手したのは訓練ではなく、徹底した「住み心地」の向上だ。児童館の増設や多世代交流拠点の整備などを通じ、住民に「このまちが好き」という愛着を育むことに力を注いだ。「愛着が、自然と『地域を守りたい』という意識へ変わるんです」。そう語る地域防災リーダーの鈴木博さん（68）は、かつて災害で家族を失った。その経験から日常の声かけによる見守りの輪を広げ、強固な防災網を構築。「日常のおせっかいが、命を救う最強のライフライン」と笑顔で結んだ。

Action04 清流と暮らしが溶け合う

長良川は「使う」空間へと進化した。未来洞察研究所の全国民意識調査で「住みたいまちランキング」で岐阜市は一位を獲得。「長良川魅力プロモーションプロジェクト」で水辺空間の活用が進み、ウォーキング・サイクリングコースは市民の健康増進の場として定着。親水公園や展望デッキなどの親水空間も整備され、四季折々のイベントも盛況だ。「川遊びイベントで魚とりが上手になった！」と笑顔を見せる小学4年生高橋陽人くん（10）のように、子どもたちが自然と触れ合える環境は、次世代への重要な教育の場となっている。